

この冊子は無料です
ご自由にお持ちください

真田坂

- 特集
街ってなに？－翁を訪ねる－
- 上田のつるし飾り
- 真田坂逸品カタログ
- 街歩きエッセイ
- イベント情報



街つてなに？

伊藤祐一さんプロフィール／明治45年3月9日生まれ。昭和26年
～50年頃、イトー靴下店を経営（場所は現在の松尾町アートギャラリー）。昭和35年、松尾町自治会長に就任。またテニスでも活躍。
昭和58年、日本テニス協会創立60周年記念功労賞を受賞。

取材

最近 中央商店街活性化の問題を議論する際に、商店街に必要なのは街作りだとか、温故創新だ、といった言葉をよく耳にします。そこで、先日、私たちフリーぺーぺー部は、松尾町の長老と言える伊藤祐一さんにお会いして取材をする機会をいただきました。伊藤さんは、今はお年で商売をやられていませんが、商売を始めたきっかけや戦時中の

話、昔の松尾町の街並み、商売の様子など多くのお話を聞かせていただき非常に勉強になりました。例えば、終戦を迎えて、占領軍のお土産としてハンコが好評でよく売れたとか、

靴下屋になつたきつかけと当時の商売の様子



当時の松尾町を語る伊藤祐一さん

当時の町並み

「当時は、うちにはハンコ屋が靴下屋に変わったけど、2軒下の刀剣屋は、戦後、傘屋に変わったよ。当時は、場所が同じ店でも、うまくいかなければ別の商品を売ったり、場所を隣の通りに移したり、と街の中が流動的だつたね。そういう時代だつたよ。」

「当時の松尾町は、小路だらけだったなあ）。商店街から一步裏の路地に入るところが子供たちの遊び場。車は通らないし、通つてもリヤカーぐらい。最高の遊び場だつた。街中迷路状態。商店街に三階ビルが建つごとに小路が一つ二つとなくなつていつた・・・今でも、店の裏に石垣がのこつていて、赤線（道路法の適用がない道路）があつたりするのはそういう時代の遺産だよ。」

※ 赤線は里道とも呼ばれ、道路法において市町村道に認定されずに残っている道路のこと



背景は昭和20年頃の商店(現在のビジネス志摩)
これだけ長く営業を続けている商店は希少

求められる街

どうでしよう?当時の商店街の様子が伝わりましたでしようか?私は、お話を聞いてみて、楽しそうな街、行つてみたい、見てみたい街だなあと思いました。行く度に少しづつ変わっていく街並み、人通りの多い中心道を一本外れると迷路のように広がる路地。人々でにぎわった商店街。今回の記事では、当時の街並みの一部分しかお伝えできなかつたと思います。ただ、今後の商店街活性化のキーワードは、楽しそうな街、行つてみたい街、見てみたい街。そんな街を作つていくことがお客様に求められているんだと私は感じています。

終わりに

今回の背景の写真は前回と同じく、昨年の春、開催した「信州上田そば流し in 真田坂」というイベントを写したものです。本誌の名前「真田坂フリーペーパー」からもお分かりと存じますが、松尾町は坂にある商店街です。坂というのは商売をやるのに不利な条件の一つですが、そんな不利な条件を有利な条件に利用しようという逆転の発想と信州上田

でやるイベントだからという理由で行いました。おかげさまで皆さんに大変よろこんでいただきました。好評だったのでも今年も行おうと検討しております。

ですが、楽しそうだな、行つてみないな、見てみたいなど読者の皆さんに思つていただき、たくさんの方にご参加していただければうれしいです。



左から、町田氏、伊藤氏、志摩氏

参考資料

- 変わる人や物の流れ || 上田市誌・近現代編(4)
- 図録 明治の上田 || 上田市立博物館
- 図録 上田と大正文化 || 上田市立博物館
- 写真に見る上田市70年の歩み || 上田市立博物館
- 上田のチラシ広告 || 上田市立博物館
- 110年の歴史をたずねて・上田唱歌 (http://www.asama.jp/t_journal/uedasyoka/index.htm)
- まちなか元氣サミット2008 興フォーラム in 高松 || 取材 地域振興

背景の写真は2007年4月29日に上田真田まつりに合わせて行われた「流しそば大会」の様子です

上田のつるし飾り



雛のつるし飾り

ここ数年、お雛様の時期

に「つるし雛」を目にすることになりました。小さな人

繫がって下げられ、愛ら

しい女の子のお節句に

ふさわしい風情です。

この「つるし雛」、本

来は「つるし飾り」「つ

るしもの」などと呼ば

れ江戸時代より日本各

地で飾られていたよ

うです。明治以降あまり

見られなくなりました

が、近年、伊豆稻取で

伝承されて来た「つる

し飾り」が町おこしに

使われ、通称「つるし雛」「雛の

つるし飾り」として全国的に知ら

れるようになりました。その他、

九州柳川、山形県の酒田、福島県、岩城地方などに同様のものが見ら

れ、そのルーツなどが論議的となっています。それがどう上田と関連するのでしょうか。

実は上田にも「つるし飾り」があり、しかも確認される範囲では最も古い記

録が残されています。

私達がこのことを

知ったのは、松尾町商店街振興組合のメンバー

である「八幡屋アロマ」「八幡屋人形センター」の細野氏から

でした。彼が

調べてみると21軒中7軒に雛人形と一緒に飾る「つるし飾り」がありました。

高い確率で見られましたので上田の或

る時期に流行ったものであると考えま

した。初節句の贈答を記した「音信帳」

(1800年)の記録に「つるしもの」

の記載があり、多くは雛人形の添え物

るし飾り」は一気に身近なものとなつたのです。

忘れられかけていた「つるし飾り」

早速、上田市立博物館を訪れ、小宮山千佐さんにお話を伺いました。上田

市立博物館では平成14年から館蔵品や市内の旧家の方からお借りして「上田

の雛人形展」を開催しているのですが、

あるお宅に伺った折りに、雛人形と一緒に飾られる「つるし飾り」をご覧になつたそうです。

「それ以前にも寄贈品の中に同種のものがあつたのですが、どのように使われるものなのか不明でした。それから

調べてみると21軒中7軒に雛人形と一緒に飾る「つるし飾り」がありました。

高い確率で見られましたので上田の或

る時期に流行ったものであると考えました。初節句の贈答を記した「音信帳」

(1800年)の記録に「つるしもの」



井澤家所蔵のつるし飾り
この飾り方が上田のつるし飾りの特徴です



上田市立博物館 小宮山千佐さん



や単独のものとして贈られています。この「つるしもの」の記録は幕末まで確認できます。

音信帳には四、五十から多い家では百件以上の記載のあるものがあり、初節句が非常に大切に扱われていたことと、江戸時代後期の豊かな上田の経済状況が偲ばれます。

羽二重、縮緬が使われ、押絵タイプのものは千代紙が貼られ、裏面もきれいで見

せる工夫がされています。稻取のものは題材に決まりがありますが上田のものは自由に作られ飾られていたようです。

他地域との関わり

上田の「つるし飾り」のかたち

上田は小県の中心であり近隣地域は通婚圏であるため、このような「つるし飾り」は小諸、坂城にも見られます。

以下お聞きしたことの概要をまとめてみますと、もとは「つるしもの」ですが言葉の響きがあまりよろしくないので便宜的に「つるし飾り」と呼んでおり、上田の「つるし飾り」は稻取のものなどと違い柳の枝に飾られていました。かたちは押絵タイプのものが多いほか、三角形の粽状の「火打ち」と呼ばれる綿入れタイプのものもあり、御前橋、桜

柳澤家に伝わるつるし飾り

た雛飾りが庶民の間に広まつたのも同時期であり町人文化が花開いた時期です。雛人形職人の手になるものや、小間物職人、呉服職人達が片手間に作っていたのではないかと想像します。

市内旧家を訪ねて

私達の知らない上田が

のもの 자체がもつ美術、工芸品としての豊かさに驚かされました。そして、人形や飾り物に託された、健やかに育ち良縁を得て欲しいと願う親の想いが一層雛飾りを味わい深いものにしています。

では、実際にはどのように伝えられ、飾られているのでしょうか。市内の旧家である柳澤憲一郎さんの御宅を尋ねました。

柳澤家は江戸時代から現在の地に続く旧家で、代々伝わる雛人形と御道具類と共に「つるし飾り」を伝えています。

「上田の飾りは繭玉のよう柳や竹などの枝に飾るのが特徴です。雛人形も有職雛以外はほとんど上田で揃えられるくらい、昔のいいものが沢山ある地域なのですよ。それだけ豊かで文化意識も高い

ところに、どう光を当て培っていくかだろうと思います。その点稻取の皆さんには今に伝え、地域づくり、自分達の暮らしに息づかせている姿は素晴らしいことだと思います。

「上田の飾りは繭玉のよう柳や竹などの枝に飾るのが特徴です。雛人形も有職雛以外はほとんど上田で揃えられるくらい、昔のいいものが沢山ある地域なのですよ。それだけ豊かで文化意識も高い歴史が上田にはあるんですね。」と飾りを拝見しながら暫し雛談義に。更に人形や精緻なお道具類を見せていただき、古きものに対する感慨だけではなく、そ

ららしい上田が沢山あるのです。

私たちの知らない、気づいていない素晴



柳澤家に伝わるつるし飾り

上田の雛人形2008
4月6日まで
上田市立博物館にて開催中！

逸品カタログ

ロースカツ



信州産のSPF豚ロース肉を使用。独特の甘みと香りを、歯ざわりのいい生パン粉で包み、濃厚なラードで仕上げます。揚げたてのたっぷり肉汁がジュワッと口いっぱいに広がる満足感...パン粉付きの半製品なら、ご家庭でアツアツを召し上がれます。

※こちらの商品は真田坂から半径2km圏内の配達となります。

- 300円
- 取扱店：但馬軒（☎ 22-0118）

真田坂限定 長野県産巨峰干葡萄



フリーペーパー11月号で真田坂グッズコーナーに製作中として紹介された商品です。長野県産の巨峰を一つ一つ丁寧に皮むきし、無添加・無着色で仕上げている贅沢な逸品です。80gで約二房分の巨峰を使います。

真田坂限定の数に限りがある商品ですのでご注意下さい。

- 2,000円（80g入り）
- 取扱店：玉井フルーツ店（☎ 22-0581）

シャチハタ 絵手紙スケッチセット



「旅先や屋外でのスケッチに最適!!」

いつでも、どこでも手軽に絵を描ける7つ道具がセットになって、気軽にスケッチを楽しんで頂けます。

- 3,675円
- 取扱店：ビジネス志摩（☎ 22-1495）

真田坂 web (<http://sanadazaka.jp/>) より おすすめの逸品をご紹介します

国産 玉ねぎの皮（粉末）



信州上田発、ポリフェノール含有玉ねぎの皮粉末。みそ汁や炒め物などに毎日スプーン3杯（1杯1g）を目安にお召し上がりください。体に溜まった老廃物を排泄してくれます。信州上田で開発し「玉ねぎの皮粉末」として商品化されました。

- 980円
- 取扱店：フードショップみやした（☎ 22-2112）

フローラディクス



ヘルスフードの本場ドイツの伝統的なハーブエキスの中に、特に女性に必要な鉄分を酵母に包んでいれ、更にビタミン2・ミネラルを加えたハーブ飲料です。鉄は良い血液を作る材料。体の酸素不足が原因の頭痛・肩こり・生理痛などの症状の方、ぜひお試し下さい。体も温まります。

- 6,300円
- 取扱店：イケダ薬局（☎ 22-0041）

リンズブレンド



スペシャルティーコーヒーという新しい味わいをお届けいたします。このリンズブレンドは深入りコーヒーの定番商品で当店のメインブレンドです。苦味のある方に感じる甘みとコク、クリーンな香味をぜひお試しください。（豆か粉かをご指定ください）

- 900円（200g）
- 取扱店：リンズコーヒー（☎ 21-1424）

リーフルの紅茶

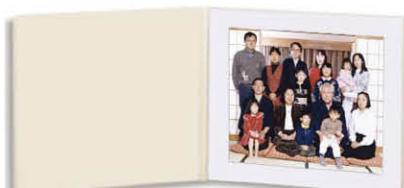


リーフルの紅茶は、厳しい品質管理の下、各國の厳選した農園から直接仕入れされています。手摘み、手もみで作られた茶葉はそれだけでも品格にあふれ、香り豊かな至福のときをお届けします。

ダージリン、アッサム、キームン、ウバ、アルゲレイ、ケニア、ラブサンスーション、他

- 店内：500～600円（ポット）
- 茶葉売り：1,260円～
- 取扱店：「幻灯舎」内カフェミント（☎ 21-7280）

家族の記念写真 出張撮影



御家族がそろう日、一年に一度は記念写真を撮りましょう。松尾カメラが御家族の歴史を美しく残します。その他、金婚式のお祝い、新築祝、お子様の初節句等、ご自宅での家族写真出張撮影を承ります。（上田市内のみ）

- 12,000円・6切台紙付1カット
- 取扱店：松尾カメラ（☎ 22-2029）

ウォッシュデニム コードポケットパンツ



美脚 & 脚長効果を徹底研究したブーツカットシルエット。タテ・ヨコ・ナナメに伸縮するストレッチ素材を使用したデニムパンツです。また色によっては、デニムに見えないので、色々なシーンで活躍するでしょう。

- サイズ：9～17号 ■ 色：全10色
- 14,595円
- 取扱店：ラブ・ファンファン（☎ 27-4185）

婦人ブラックフォーマル 2073



中のブラウスは前空きですが、ボタンが脇側にあるため、上着を着た時にボタンが隠れ、とてもすっきりしたシルエットになります。どなたにもお勧めできるオーソドックスなデザインです。

- サイズ：9～19号
- 43,000円
- 取扱店：ラッキー（☎ 22-0766）

梅果紫蘇



こだわりの逸品「梅果紫蘇」販売店。体内の～気・血・水～を元気に。梅としその製品です。

- 笑顔でおつき合い。小池水産。
- 3,150円
- 取扱店：小池水産（株）（☎ 22-0879）

VICTORINOX SWISS ARMY ST-5000 DIGITAL COMPASS



ケースには軽量で強靭なチタンを採用し、「いま、自分がどこにいるのか？」を正確に把握できるデジタルコンパス機能や、目的地に向けて正しい進行方向を導いてくれるパスファインダーモードを搭載したリストウォッチです。

商品説明 DVD を差し上げます。

- 69,800円（定価 77,700円）
- 取扱店：ヨロズヤ時計店（☎ 22-1814）

お支払い&送料について

○商品と引き換えに代金をお支払い下さい。	
○商品代金の他に送料がかかります。	
真田坂より半径 2km 圏内	500円*
熊本・宮崎・鹿児島・北海道	1,420円
宮城・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡・愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井	1,000円
京都・滋賀・奈良・和歌山・大阪・兵庫	1,110円
岡山・広島・山口・鳥取・島根	1,210円
香川・徳島・高知・愛媛	1,320円
福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	1,420円

* 真田坂より半径 2km 圏内へお届けの場合の送料

○お買上げ金額合計が 3,000 円未満：500 円

○お買上げ金額合計が 3,000 円以上 10,000 円未満：300 円

○お買上げ金額合計が 10,000 円以上：無料

ヘッドルーペ

ヘッドルーペ

特長 2

● 頭のサイズに合わせて調整できるヘッドバンドです。



特長 1

● すっきりと見やすい高級白レンズ（ガラスレンズ）を採用しています。



両手を自由に使って作業が出来るヘッドルーペ。模型作りなど机上での作業に。特徴は(1)頭のサイズに合わせて調節できるフルサイズです。(2)レンズはすっきり見やすい国産・高級白レンズを採用しております。(3)1.8倍、2.7倍、3.5倍の3種類がございます。お客様に合わせてお選びください。

- 8,925円（1.8倍）9,240円（2.7倍）9,450円（3.5倍）

- 取扱店：（株）メガネのヤジマ（☎ 26-4146）

このページに掲載している商品は、ファックス、インターネット、携帯電話でご注文頂けます。送料は左の表をご覧ください。

- ファックスでのご注文は、お名前（ふりがな）、ご住所、お電話番号、希望商品名を明記の上、020-4624-6492までお送りください。
- インターネットでのご注文は、真田坂 web (<http://sanadazaka.jp>) へアクセスし、「デリバリーサービス」をクリックしてください。
- 携帯電話でのご注文は、<http://sanadazaka.jp/order.html> へアクセスして、必要事項をご入力の上、送信してください。右の QR コードを読み取ると簡単にアクセスできます。



街歩きエッセイ 「松尾町の夕日」

文・松尾町太郎

11

飯島商店の店舗・事務棟・作業棟の3棟が国の登録有形文化財に指定された。店舗は大正13年、当時としては上田屈指の高層洋風建築として建てられたものであり、大正モダニズムを象徴する建物である。事務棟・作業棟は明治27年、繭の保管倉庫（繭倉）として建てられたものであり、当時隆盛を極めた蚕都上田の名残を今に伝える数少ない建物である。因みに文化財登録制度の歴史は浅く、平成8年に文化庁が導入したものである。近年の国土開発や都市計画の進展、生活様式の変化等により、社会的評価を受けるまもなく消滅の危機に晒されている多種多様かつ大量の近代等の文化財建造物を後世に幅広く継承してくことを目的とした制度である。

町並みは常に変わり行く、その時その時のニーズに合った形へと松尾町も変遷してきた。しかし、よくよく目を凝らしてみれば飯島商店の建物に限らず、思わずノスタルジーに浸つてしまふようなものが残っている。古き良き思い出の場所は一度壊してしまえば、後

かいいかなる投資をしようと後悔をしようとも戻ることは叶わないと。現在に不平や不満を持つではなく、現在をありのままに素晴らしいものとして認め、いかに現に在るものを作り評価して活用して保存していくか。文化財登録制度を透かして、そのような時代の潮流を感じずには居られない。



飯島商店の外壁に埋め込まれている文化庁のプレート

●松尾町イベント情報 (平成20年2月1日現在の予定)

《アートギャラリー》

3月14日(火)～16日(日)

「照明器具と絵画展」●山崎アン奈

3月18日(火)～20日(木)

「第8回アットホームサムさん展(絵画)」●タップうえだ

3月21日(金)～25日(火)

「版画展示発表会(木版画・銅版画)」●神川版画クラブ

4月10日(木)～16日(水)

「桜井芳孝 陶芸展」●幻灯舎

4月17日(木)～20日(日)

「ステンドグラス展」●中村健一

4月26日(土)～27日(日)

「城下町地図展覧会」●滝澤主税

5月3日(土)～8日(木)

「奥村直展(絵画)」●奥村直

6月6日(金)～9日(月)

「押花展」●岩田章子

8月14日(木)～20日(水)

「絵画展」●青木繁雄

《その他》

上田パフェコンテスト

上田真田まつりに向けて現在進行中!!

松尾町商店街振興組合は、上田パフェコンテストに協賛しています。

詳細は

<http://uedaparfait.web.fc2.com/>をご覧下さい。



編集後記

真田坂フリーペーパー第1号が発刊されたのは2005年6月15日です。早いもので、次号からはいよいよ3年目に突入します。私の名前が編集委員として載ったのは第5号からですが、実は第3号からフリーペーパーに関わって参りました。

第3号の巻頭言で「3号誌」という言葉を使っています。これは、3号で終わってしまう発刊物のことを指すようですが、3年目に突入しつつあるフリーペーパーも3号誌、もとい3年誌にならぬように頑張ってまいります。

最後に、今回の取材では、伊藤祐一様、柳澤憲一郎様、上田市立博物館様には大変ご協力いただきました。また、夜遅くまで付き合ってくれた愉快な仲間達、ありがとう。そして、読者の皆様のおかげで2年間続けて来れた事をうれしく思い、この場を借りて御礼申し上げます。次号もご期待ください。

(ドライもん)



※各店で上田市共通駐車券を差し上げております